

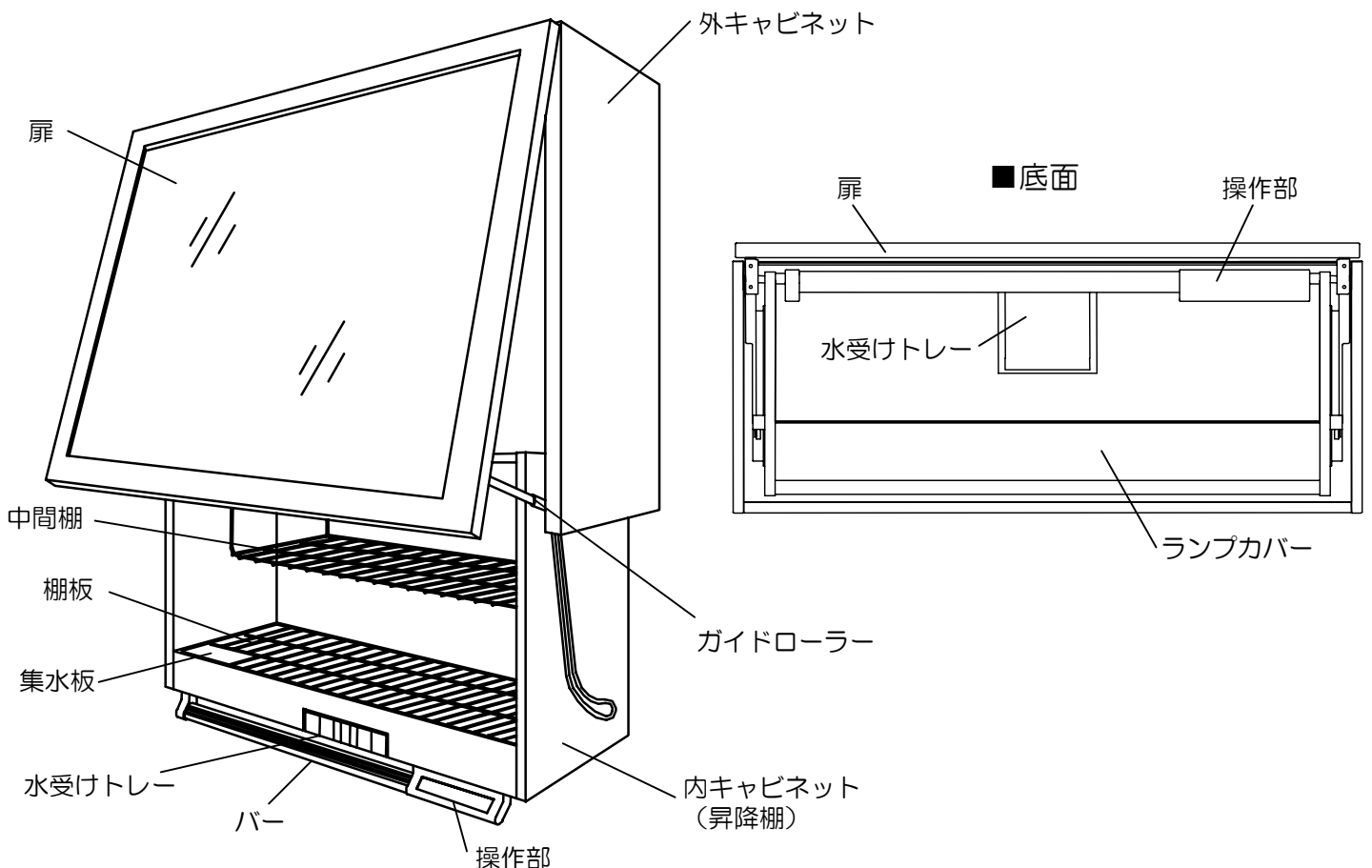
もくじ

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 各部の名称……………1 | 5. 停電に収納物を取り出したい場合…8 |
| 2. 安全上のご注意……………2 | 6. 「故障かな？」と思ったら……………9 |
| 3. 使用方法……………4 | 7. 仕様……………9 |
| 4. お手入れのしかた……………7 | |
| | 保証書・アフターサービス……………巻末 |

取扱説明書（お客さまへ）

このたびは、弊社「電動昇降吊戸 MEL-A090」をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みになった後は、いつでもご覧になれる場所に、大切に保管してください。



1. 各部の名称







1. 安全上のご注意

必ずお守りください。

- ご使用前に安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 表示と絵文字の意味は次のようになっています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

 	このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
 	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理改造はしないでください。



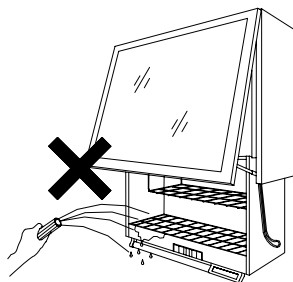
火災、感電、けがの原因となります。

昇降棚を上昇・下降させるときは、昇降用スイッチ以外には手を触れないでください。



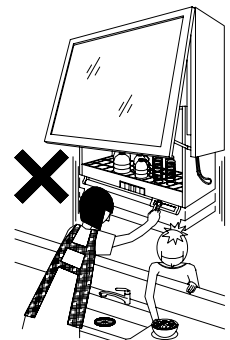
けがをする恐れがあります。

お手入れの際は、本体を水洗いしたり、水をかけないでください。



火災、感電の原因となります。

昇降範囲内に人がいないことを確認してください。



けがの原因となります。

お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。



感電の恐れがあります。

薬品・包丁などの危険な物や、不安定な物は収納しないでください。また、昇降棚からはみ出した状態で収納しないでください。



物が落下し、けがや故障の原因となります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。



やけど・感電・けがをする
恐れがあります。

周辺に可燃物を置いたり、可燃性ガスを使用したりしないでください。



火災の原因となります。

物の出し入れは、昇降棚が下に降り、止まった状態で行ってください。



上昇・下降中に物を出し入れすると、けがをする恐れがあります。

万一、煙がでたり、変な臭いなどの異常時は分電盤のブレーカーを切ってください。



火災・感電の恐れがあります。

LEDランプの交換・修理は、修理技術者以外の人は行わないでください。



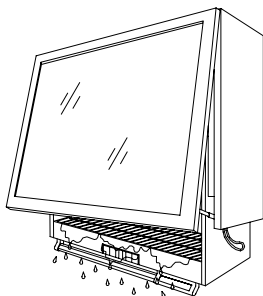
火災、感電のおそれがあります。

注意

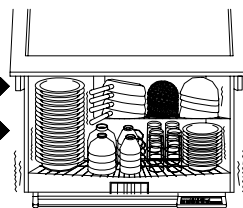
水受けトレーに水がたまっていたら、必ず水を捨ててください。



満水になるとキッチンや床などに水がこぼれます。



収納量は25kg以上（中間棚には7kg以上）
収納しないでください。

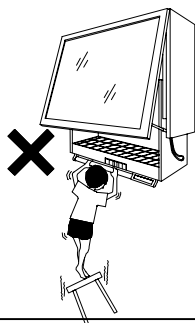


故障の原因となります。
25kg以上収納しますと、保護装置が働き機器が停止することがあります。

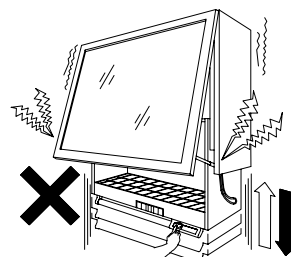
よりかかったり、ぶらさがったり、無理な力を加えないでください。



製品が破損し、けがや故障の原因となります。



昇降動作を連続して3分以上行わないでください。



モーターが過熱して故障の原因となります。

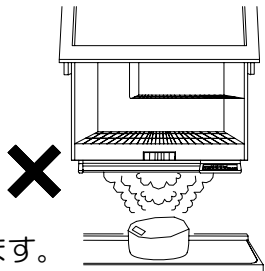
ご使用にならないときは、必ず電源スイッチを切ってください。



不意に操作部に手が触れ、昇降棚が動き出し、けがの原因となります。

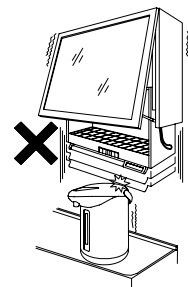
お願い

昇降棚の下方で加熱機器を使用しないでください。



製品の故障の原因となります。

昇降範囲内に物を置かないでください。



昇降棚が物にあたり、製品が破損し故障の原因となります。

食器などを収納する場合はよく洗浄してから収納してください。



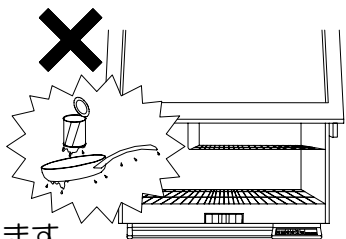
異臭の原因となります。

長期間ご使用にならない場合は、分電盤（専用回路）のブレーカーを切ってください。



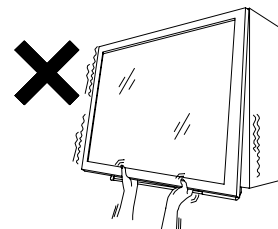
火災・漏電の原因となります。

棚板の上にぬれたフライパンや缶類など鉄製のものを放置しないでください。



さびの原因となります。

昇降棚が最上昇された状態では、扉を無理に開けないでください。



耐震ロック機構がはたらいていますので、無理に開けますと、故障の原因となります。

昇降棚下部のバーを押したりひっぱたりしないでください。

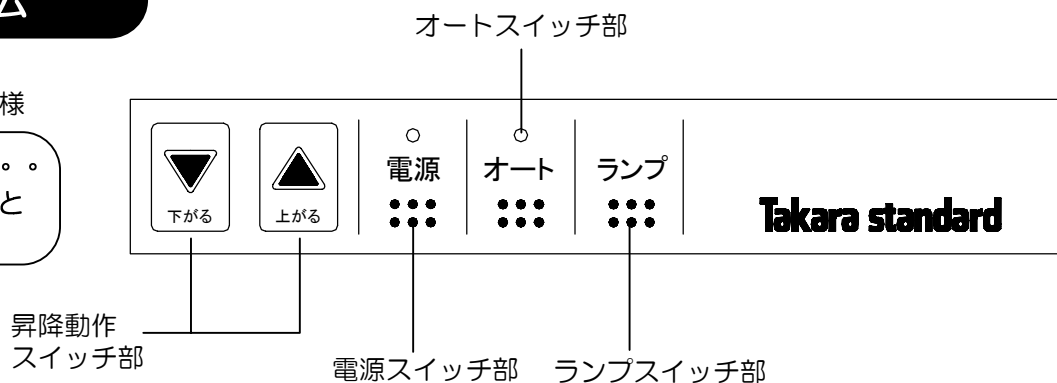


製品の故障の原因となります。

3. 使用方法

■操作部：タッチスイッチ仕様

タッチスイッチ仕様とは。。。各スイッチ部を手で触れると作動するスイッチです。



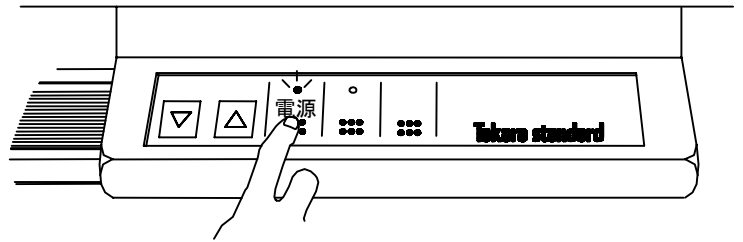
<昇降操作>

お願い

昇降操作は素手でおこなってください。ゴム手袋などをはめると動作しません。

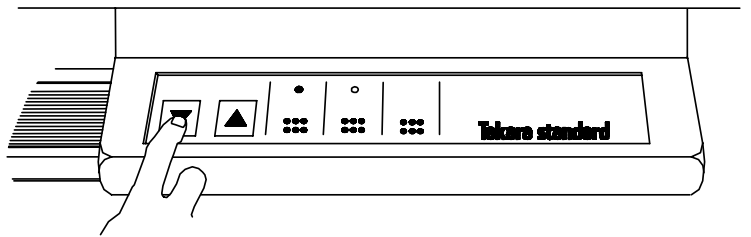
1. 電源スイッチ部を手で一回触れて電源ランプが点灯することを確認してください。
(点灯する際に「ピッ」とブザー音でお知らせします。)

再度電源スイッチ部を手で触れると電源ランプが消灯し、昇降動作が作動しなくなります。



2. 下降のしかた

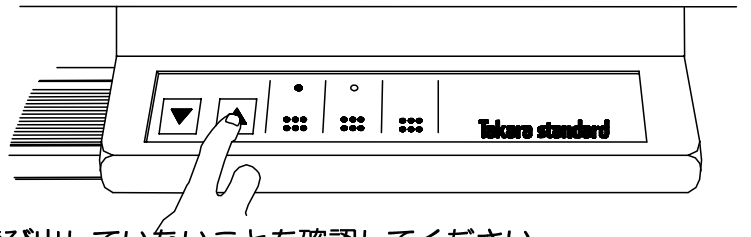
- 操作部の▼部（下がる）を手で軽く触れてください。
- 手で触れると、昇降棚が下降し自動的に扉が開きます。
- 操作部から手をはなすと停止します。



3. 上昇のしかた（手動の場合）

- 操作部の▲部（上がる）を手で軽く触れてください。
- 手で触れると、昇降棚が上昇し自動的に扉が閉まります。
- 操作部から手をはなすと停止します。

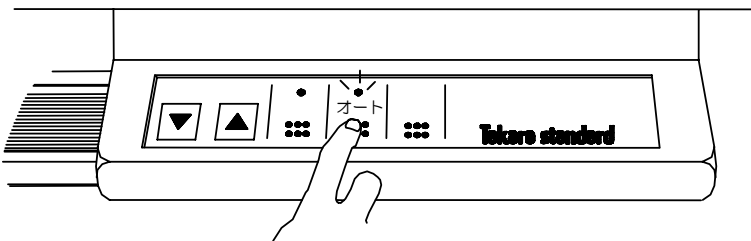
上昇させる場合は、昇降棚から物が飛び出していないことを確認してください。
また、上昇中は操作部以外のところには決して手を触れないでください。



上昇のしかた（自動の場合）

- オートスイッチ部を手で一回触れてください。
- オートランプが点灯し、「オート」モードになります。
- 操作部の▲部（上がる）を手で軽く触れてください。
- 「ピッ」とブザー音が鳴るのを確認してから手をはなします。昇降棚が最上部まで上昇し自動的に扉が閉まります。

※途中で止めたい場合は、操作部の▼部（下がる）を手で軽く触れてください。



お願い

上昇させる場合は、昇降棚から物が飛び出していないことを確認してください。
また、上昇中は操作部以外のところには決して手を触れないでください。

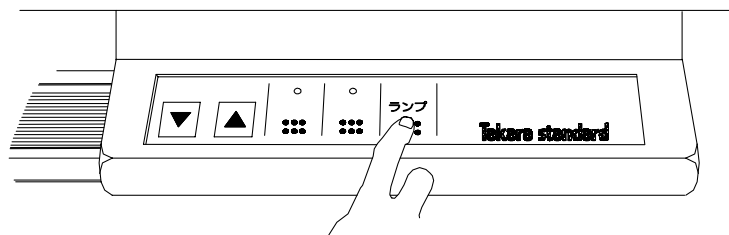
お知らせ

「オート」モードは上昇のみです。下降の「オート」モードはできません。
「オート」モードは再度オートスイッチ部を手で触れてオートランプが消灯するまで記憶しています。（ただし、停電や元電源が切れたあとは「オート」モードはOFFになります。）

ランプのつけ方

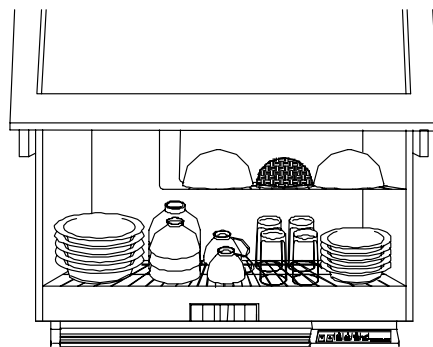
電源スイッチ部のON/OFFに関係なく作動します。

- ランプスイッチ部を手で一回触れてください。
再度ランプスイッチ部に触れると消灯します。



<昇降棚の使いかた>

1. 操作部の▼部を手で軽く触れて昇降棚を降ろしてください。（P5下降のしかた参照）
2. 食器等の収納物を収納します。



警告

薬品・包丁などの危険な物や、不安定な物は収納しないでください。また、昇降棚からはみ出した状態で収納しないでください。



物が落下し、けがや故障の原因となります。

注意

収納物は重さが均等になるようにのせてください。

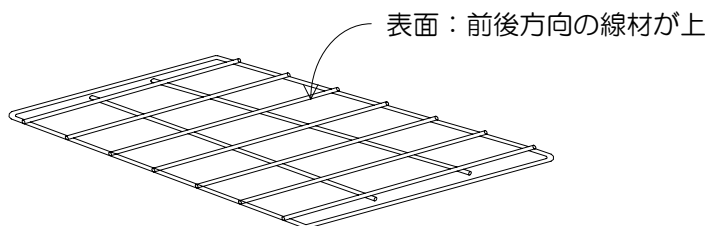


のせすぎたり、重たい物を一ヶ所に集中させると、棚板や昇降棚が変形する恐れがあります。

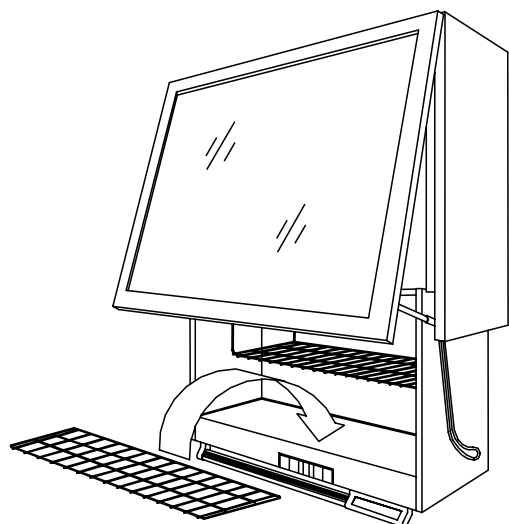
3. 操作部の▲部を手で軽く触れて昇降棚の扉が閉まるまで上げます。（P5上昇のしかた参照）

<棚板のセットのしかた>

棚板は表面を上向きにしてセットしてください。
（上部の中間棚はあらかじめ固定されています。）

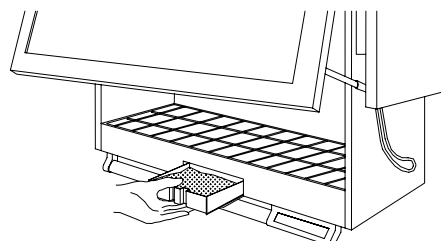


（棚板）



お願い

ぬれた食器などを収納した場合は、水受けトレーにたまった水をすててください。
水受けトレーは昇降棚を少し下げて前方に引出して取りはずします。



4. お手入れのしかた

いつまでも美しく快適にご使用いただくためには日頃のお手入れが大切です。なお、安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋の着用をおすすめします。



お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。



感電の恐れがあります。



操作部等の電装部品には絶対に水をかけないでください。



製品の故障の原因となります。

お手入れの際は、本体を水洗いしたり、水をかけないでください。



火災・感電の原因となります。

●昇降棚庫内の汚れ（日常）

- ・樹脂部分（底面）の汚れ

水または温水を浸した布でふいてください。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を布につけてふき取り、水ぶきしてからからぶきしてください。

- ・ステンレス部分（側板・後板・棚板）の場合

水または温水を浸した布でふいてください。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を布につけてふき取り、水ぶきしてからからぶきしてください。こびりついた汚れやサビが付着した場合は粒子の細かいクリームクレンザー（液体）を使用してふいてください。

●ランプカバーの汚れ（日常）

水または温水を浸した布でふいてください。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を布につけてふき取り、水ぶきしてからからぶきしてください。

●扉・その他部分の汚れ（日常）

水または温水を浸した布でふいてください。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を布につけてふき取り、水ぶきしてからからぶきしてください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためる恐れがあります。



5. 停電時に収納物を取り出したい場合

停電時は、昇降棚を動作させることができません。

収納物を取り出したい場合は、下記の手順にしたがってください。

(A) 昇降棚が最上部以外の状態とまっている場合

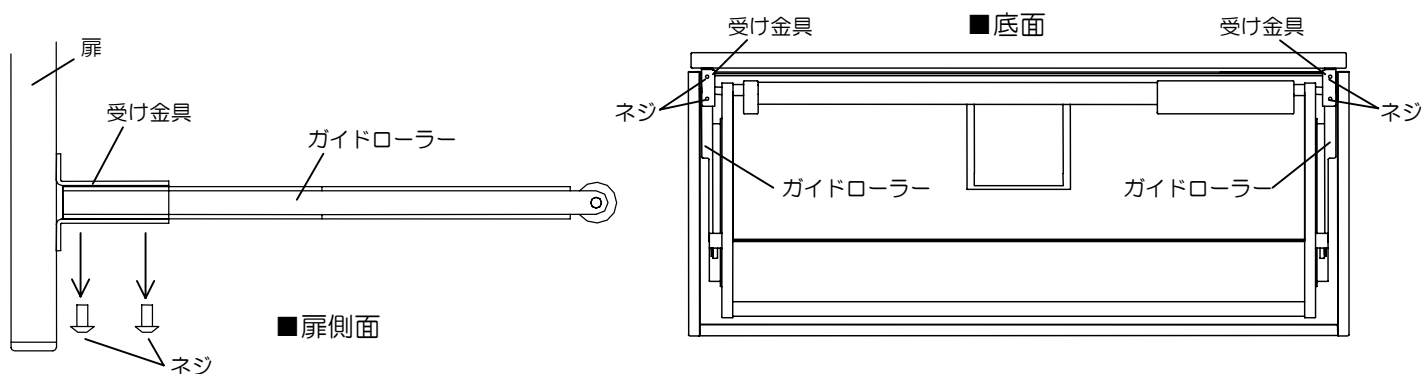
扉を自由に開けることができますので、扉を開けて収納物を取り出してください。

(B) 昇降棚が最上部まであがっている場合

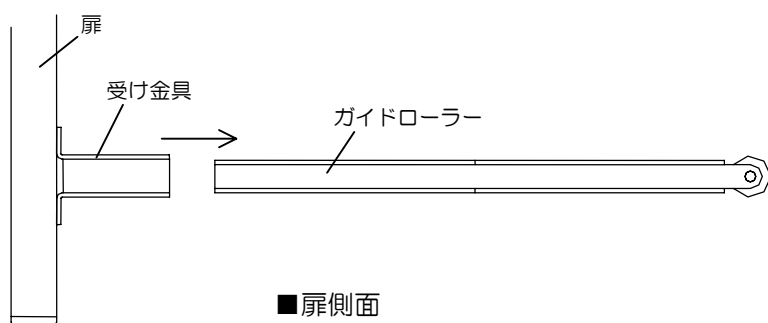
耐震ロック機構がはたらいているため扉が開かない構造になっています。収納物を取り出したい場合はロック機構を解除する必要がありますので、下記の〈耐震ロック機構のはずしかた〉にしたがい金具を取りはずしてから、扉を開けて収納物を取り出してください。

〈耐震ロック機構のはずしかた〉

1. 昇降棚と外箱ケースのすきまから、扉裏側の両側に固定されている受け金具とガイドローラーを連結しているネジ（トラス小ネジM4×10）をドライバーではずします。



2. ガイドローラーを受け金具から抜き出してください。



3. ガイドローラーを取りはずしますと、扉を自由に開けることができますので、扉を開けて収納物を取り出してください。

4. 組立ては逆の手順で行います。

6. 「故障かな？」と思ったら

修理サービスをご依頼される前に、つぎのことを確認してください。

症状	確認項目	処置方法
昇降棚が下降しない	①元電源（分電盤のブレーカー）が「切」になっていませんか？ ②電源スイッチを切っていませんか？ ③停電していませんか？ ④昇降棚の下に障害物がありませんか？	①元電源（分電盤のブレーカー）を「入」にしてください。 ②電源スイッチを入れてください。 ③停電が回復するまでおまちください。 ④少し上昇させて障害物を取り除いてください。
昇降棚が上降しない	①元電源（分電盤のブレーカー）が「切」になっていませんか？ ②電源スイッチを切っていませんか？ ③停電していませんか？ ④収納物が25kgを超えていませんか？	①元電源（分電盤のブレーカー）を「入」にしてください。 ②電源スイッチを入れてください。 ③停電が回復するまでおまちください。 ④一度電源スイッチを切り、収納物を減らして25kg以下にしてから電源スイッチを入れてください。
ランプが点灯しない ・点滅する	①元電源（分電盤のブレーカー）が「切」になっていませんか？ ②停電していませんか？	①元電源（分電盤のブレーカー）を「入」にしてください。 ②停電が回復するまでおまちください。

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは、分電盤のブレーカーを切り、お買い求めの販売店または巻末に記載のフリーダイヤルへご連絡ください。

お願い

電源スイッチ部の電源ランプが点滅している場合は通信異常の故障が発生している恐れがあります。部品交換等の修理が必要になりますので、分電盤のブレーカーを切り、販売店または巻末に記載のフリーダイヤルへご連絡ください。

7. 仕様

型 式	MEL-A090	
定格電圧	100V 50/60Hz	
消費電力	昇降時	130W
	ランプ点灯時	11W
安全装置	過負荷検知装置	
昇降寸法	400mm	
照明装置	直管形LEDランプ	
外形寸法	幅	900mm
	奥行	386mm
	高さ	700mm
製品質量	40kg	
最大収納量	25kg	

MEMO

保証書

お客様	お名前	様	品名	電動昇降吊戸 MEL-A090
	ご住所 〒			保証期間
	TEL ()		お買い上げ日	
販売店		印		
	TEL ()			

見本

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口に出張修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼は、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 一般家庭以外（例えば車両、船舶への搭載、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
 - (2) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (3) 鉄分などによるもらいサビ及び水滴の放置などによる汚れの付着、損傷
 - (4) メーカーが定める設置説明書に基づかない設置、専門業者以外による移動、分解等に起因する不具合
 - (5) お取り付け後の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (6) 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の現象
 - (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性空気環境に起因する不具合
 - (8) ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
 - (9) 火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による不具合
 - (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
 - (11) 異常電圧、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障及び破損
 - (12) 本書のご提示がない場合
 - (13) 本書にお客様名、販売店名、お買い上げ日の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (14) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはフリーダイヤル（0120-557-910）にご連絡ください。

修理メモ

アフターサービス

当社製品に関するお問い合わせ、アフターサービスのお申し付けは、お買い上げの販売店または下記フリーダイヤルにご連絡ください。

 **0120-557-910** 受付時間 9:00～18:00（土日祝、夏季・年末年始休業日を除く）

※PHS・携帯電話・IP電話等で、一部通話ができない場合があります。

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 製品品番（製品内部に表示）
- (2) 異常の状況
- (3) ご購入年月日
- (4) お名前・ご住所・お電話番号

【修理料金のしくみ】

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

※保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。

タカラスタンダードお客様サポートサイト <http://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>

インターネットでの修理のご依頼、消耗品・小物のご注文も可能です。

〈修理のご依頼〉

修理のご依頼をインターネットより受け付けております。
修理受付後、弊社修理窓口よりお電話でご連絡させていただきます。

〈よくあるご質問〉

お客様よりお問い合わせいただくことの多い質問をまとめています。
修理やお問い合わせの前に参考にしてください。

〈消耗品・小物のご注文〉

主な消耗品・交換部品や小物はインターネットでもご購入できます。
※一部、取り扱いのない商品もございます。フリーダイヤル（0120-557-910）までお問い合わせください。

※お客様の個人情報の取扱いについて

個人情報保護に関連する法令を遵守し、個人情報保護に関する基本方針を定め、関係会社を含めた全社に徹底を図っております。
詳細はタカラスタンダードホームページをご覧ください。

【廃棄について】

本製品を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区嶋野東1丁目2番1号

11963308